



BLUE SKY

第7号

令和8年10月12日(月)
コタキナバル日本人会附属
コタキナバル日本人学校
TEL 088-422297



～自ら学び 心豊かな子どもに～

文責：校長 渡會 寛之

作り上げたよ世界一の修学旅行

10月4日(日)～10月6日(火)5年生から中3までの11名でペナンへの修学旅行に行ってきました。今年度も各学校行事を、できるだけ子どもたちの手で作り上げるものにする方針のもと、自分たちで計画立案や下調べ、レクレーション等を行ってきました。その頑張りを見て神様も憐憫を垂れてくださったのか、旅行中は大きなトラブルや体調不良、雨の影響も全くなく、全員笑顔の素晴らしい旅行にすることができました。

特に、今回の修学旅行で、ペナン日本人学校の子どもたちと交流できたことは、大変印象深いきごとでした。3-40分という本当に短い時間でしたが、お互いに自分たちの学校を紹介しあい、レクリエーションで交流を深め、手作りの記念品を交換しあって、帰るころにはすっかり仲良くなっていました。子どもたちの中に、ペナン日本人学校からバスに乗り込むまでの道すがら、「楽しかったな。」とつぶやく人がいましたが、その一言を聞いたときに、この修学旅行が「世界一の花を咲かせられた」ことを確信しました。

今回の修学旅行では、エスケープペナンのようなアミューズメントパークへの訪問もありました。そのような場所を「楽しかったー」というのももちろんですが、子どもたちが班別活動で様々な国の人たちにインタビューしたり、他の日本人学校の子どもたちと交流したりする、人とのつながりの中に喜びや楽しさを感じてくれたことが、本当にうれしく感じられました。

もちろん、子どもたちの旅ですからトラブルもたくさんありましたが、それに負けない強さを子どもたちは見せてくれましたし、友達を思いやる優しさも見せてくれましたし、困難を解決する賢さも見せてくれました。それはまさに、JAPAN QUALITYの子どもたちであったと思います。

保護者の皆様におかれましては、これまで温かくご支援くださり本当にありがとうございました。子どもたちはこの旅行で身に付けた力を生かし、学習発表会も自分たちで作った素晴らしいものにしようと頑張っています。

留守隊も校外学習でHUSTLE発する！

10月7日(水)修学旅行の留守部隊として残った子どもたちがペトロサインスを訪問し様々な科学的現象について体験学習をしてきました。子どもたちは、ジャイロ効果や気圧が引き起こす現象に目を丸くしたり、ショベルカーのミニチュアを自分で動かして喜んだりしていました。

また、お昼過ぎからは、公園に出かけ自分たちで作った凧を上げましたが、そこでは現場で知り合ったマレーシアの方と、仲良く交流しながら楽しく過ごすことができました。修学旅行隊ともども、KJS全体がちびっこ親善大使として躍動した4日間だったようです。



